

小学生版テーマ8 いじめのない社会へ 子どもの心の声が聞こえていますかー

【ねらい】

◇日常の中で子どもとのコミュニケーションをふりかえり、参加者相互の悩みや工夫点を交流し合うことで、子どもを理解することや日常の心の交流の大切さを再認識する。親子の会話などを通して子どもの自己肯定感を高めることは、いじめの早期発見・早期対応や、いじめのない社会を築いていくことへつながっていくことについても考える機会とする。

【活動の流れと支援のポイント】

1 自己紹介 および アイスブレイク	<p>○4～5人のグループをつくり、自己紹介をする。 (10人までであれば全体で話してもよい)</p> <p>○グループ編成の時には下記のような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。 ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。 <p>○簡単な名札や席札をつくり、名前を覚えやすいようにする。</p> <p>○グループ内で進行役、記録役、発表役を各一人決める。</p>
2 語り合いの 約束を確認 する	<p>○語り合いに入る前に、約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけの話しをする。(個人情報に関することについて) ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。 ・自分だけが長く話しすぎない。 ・発言を強要しない。
3 事例に取り 組みテーマ について知 る	<p>○ワークシートの設定を理解し合い、親②のセリフを吹き出しに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を書いてもいいことを確認し合い、自分のことばで書き込む。 <p>○ワークシート下の1～3をグループで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担しながらグループで親②のセリフを声を出して読み合う。 ・子どもの立場になって親のセリフを聴き合い、感想や意見を話し合う。 ・ねらいに近づく話し合いになってきた場合は、長めに時間をとる。
4 語り合い 活動	<p>○子どもとの日常的な会話をふりかえり、子どもとの会話で気をつけていることなどを書き、自分が書いたことをグループ内で伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しく考えると事例が出しにくくなることがあるので、進行役は書く時間に入る前に例をいくつか示していくとよい。 <p>○話し合いから気づいたことや参考となったことを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、数人に発表してもらおう。
5 まとめ	<p>○語り合いのまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右ページの資料を活用したり、話し合いで気づいたことを発表し合ったりして、親子のコミュニケーションの大切さを確認する。
6 ふりかえり	<p>○話し合った内容をふりかえり、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。</p>

【参考資料】

いじめ早期発見チェックポイント

☆子どものSOSをキャッチしましょう☆

チェックしてみましょう

- 表情がさえず、おどおどした様子が見られる。
- 持ち物をひんぱんになくしてくる。
- 教科書やノートにいたずらをされて帰ってくる。
- いろいろと理由をつけて、お金をたびたび要求される。
- 衣服を汚してきたり、あざや傷をつけてきたりする。
- 家族の些細な言葉にイライラしたり、反抗したりする。
- 登園・登校をしぶったり、早退や欠席が多くなる。
- 家族を避け、何か隠しているような気配が感じられる。
- TVゲームなどの一人遊びに夢中になり、外出が少なくなる。
- よく電話がかかってきて、困っている様子がうかがえる。
- 体のあざや傷を隠すため、お風呂に入るのを嫌がるようになる。
- 学習意欲をなくし、学校の成績が急に悪くなる。
- 頭痛・腹痛などをよく訴えるが、特に異常はない。

【滋賀県】教育委員会「ストップいじめアクションプラン」より】

○親が子に期待するのと同じくらい、子は親に期待している

親が子を思いやるのは当たり前と思われていますが、どれだけの親が実際に子どもを思いやっているのでしょうか。思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえ、自分が思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬をほらい、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、子どもが親に話すのが安心して楽になり、いじめなどの悩みも自然に打ち明けられるようになるはずです。

【文科省発行「イキイキ子育て家庭教育手帳 小・中学生編」より】